



2021年7月15日

各 位

会 社 名 株式会社くろがね工作所  
 代表者名 代表取締役社長 神足 尚孝  
 (コード：7997、東証第2部)  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 森 吉武  
 (TEL. 06-6538-1010)

## 第2四半期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2021年5月31日に公表いたしました2021年11月期の第2四半期累計期間(2020年12月1日～2021年5月31日)の業績予想と、本日公表の同実績に下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

### 1. 業績予想の実績と差異

(1) 第2四半期累計期間の業績予想の実績と差異(2020年12月1日～2021年5月31日)

(連結業績)

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	4,630	△55	△20	40	23円48銭
実績値(B)	4,655	0	28	89	52円76銭
増減額(B-A)	25	55	48	49	
増減率(%)	0.5	—	—	124.7	
(参考)前期第2四半期実績 (2020年11月期第2四半期)	4,140	△102	△96	△142	△83円45銭

(個別業績)

単位：百万円

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	4,610	△25	40	23円48銭
実績値(B)	4,625	25	93	54円61銭
増減額(B-A)	15	50	53	
増減率(%)	0.3	—	132.6	
(参考)前期第2四半期実績 (2020年11月期第2四半期)	4,119	△101	△141	△83円14銭

## (2) 差異の理由

原価面においては、建築付帯設備他部門・クリーン機器他設備機器部門ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響による着工案件の中止、延期及び完工案件の遅れによる工場における工場稼働率の低下等の影響による製造原価の増加を想定しておりましたが、工場における製造原価の低減への取り組みの効果により一定の歯止めがかけられたこと、また営業部門における仕入コストの削減等により原価率の上昇が予想に比較して抑制されたこと、および経費面においては、配送効率の改善による運送費の削減等が進んだこと等により、営業利益が増加致しました。また経常利益、四半期純利益につきましては、営業利益が増加したことに伴い増加したものであります。

なお、通期予想につきましては、再度、首都圏において緊急事態宣言が発出されたことに対する影響等が現時点では予測出来ないこともあり、2021年5月31日に公表いたしました業績予想からの変更はありませんが、修正が必要と判断した場合には速やかに公表致します。

(注)上記記載の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上